



探究サイクルで働かせる『見方・考え方』

～より深い学びへ到達するための捉え方・思考のヒント～

探究サイクル

課題設定

・先生が決める、児童生徒が選択、児童生徒が設定等

計画

・方法、時間、学習形態等

まとめ・表現

・自分事としてアウトプット
・相手意識をもって

情報収集

・教科書、資料集から(正確な情報をできるだけ多く)
・必要に応じて他者参照、本・インターネット、生成AI等

整理・分析

・比較、分類、多面(角)的の視点で(思考)
・シンキングツールも必要に応じて活用

各ステップでは
振り返り・評価

※各ステップでは、学習の基礎となる資質・能力(言語能力、情報活用能力等)や見方・考え方を発揮させることで“深い活動”に!

自己の生き方を考えていく

サイクルは何度も繰り返す

ステップ	働かせる主な『見方・考え方』	具体例
① 課題設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問や関心を見だし、探究したい問いを立てる (問題発見・課題設定) ・課題の背景や重要性を考え、探究する価値を判断する (分析・判断) ・探究の全体像を捉え、計画を立てる (見通し・計画) 	<p>理科: 「なぜ冷たいコップの周りには水滴がつくの?」など身近な現象への疑問から問いを立てる (探究テーマを決める)</p> <p>社会: 地域の課題について、自分たちの探究が地域にとってどのような意味をもつか話し合う</p> <p>全教科: 探究の全体像を捉え、探究活動にかける時間や場所、役割分担等を決める。</p>
② 情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に必要な情報や資料の種類を考える (情報特定) ・可能な限り様々な方法で情報を集める (情報収集・調査) ・信頼できる情報源を選んだり、情報の出どころ等を確認したりする (情報源選択・出典) ・集めた情報が信頼できるか、偏りが無いか等を判断する (情報評価・批判的思考) ・必要な情報を正確に読み取り、記録し、整理しながら集める (情報読解・記録) 	<p>算数・数学: 課題解決に必要な数値を教科書や資料から抜き出す</p> <p>生活・総合: 地域の店や人に話を聞いたり質問したりする (インタビュー、アンケート等)</p> <p>社会: 図書館やインターネットで地域の統計データや文献を調べる</p> <p>理科: 天気と気温の変化を観察し記録し、気象庁の過去のデータも収集する</p> <p>外国語: 外国文化についてインターネットの記事や動画等で情報を集める</p>
③ 整理・分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・図や表、グラフなどを用いて視覚的に整理する (視覚化) ・情報の中から共通点や相違点、関係性を見出す (比較・関連付け) ・根拠をもとに情報を分析し、意味や傾向を読み取る (分析・解釈) ・批判的な視点で情報を吟味し、多面的・多角的に検討する (批判的思考・多面的多角的) ・集めた情報を分類・整理し、わかりやすくまとめる (分類・整理・要約) ・論理的に思考し、仮説を立てたり、検証したり、結論の方向性を見出したりする (論理的思考・推論・判断) 	<p>理科・数学: データをグラフ化し傾向を読み込む</p> <p>国語: 複数資料を比較し筆者の主張を分析する</p> <p>社会: 多面的・多角的に分類して似ているところや違っているところを見出す</p> <p>家庭科: 集めたレシピを栄養素ごとに分類し、比較する</p> <p>総合: アンケート結果を表やグラフで整理し、特徴を見取る</p>
④ まとめ・表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・最も伝えたいこと(主題)を明確にして表現する (主題設定) ・根拠を示しながら筋道立てて説明する (論理的思考) ・探究を通してわかったことや自分の考えをまとめる (要約・統合) ・相手や目的に応じてわかりやすく、効果的に伝える方法を考える (伝達方法の選択) ・伝えたい内容に合わせて表現方法(言葉づかい、デザイン等)を工夫する (表現工夫・創造性) 	<p>社会: 調べた内容を模造紙にまとめ、壁新聞を作成する</p> <p>国語: 環境問題についての意見文を書く</p> <p>理科: 実験結果をスライド・レポート等にまとめて発表する</p> <p>外国語: スライド等にまとめてスピーチで発表する</p> <p>技術・家庭科: レポート・ポスター・ウェブページなどで表現する</p> <p>図画工作・美術・音楽: 探究したテーマを作品で表現する</p>
各ステップで(必要に応じ) ☆ 振り返り・評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との途中段階を交流し、相互にブラッシュアップする (調整力・改善・成長志向) ・自身の探究サイクル全体や各ステップについて、客観的に振り返る (振り返り) ・設定した課題に対してどの程度解決できたか自己評価する (課題達成度・評価) ・探究を通して、どのような知識やスキル、考え方が身についたか自覚する (自己理解・メタ認知) ・探究活動における自分の役割や他者との関わりについて考える (役割認識・他者理解) ・今回の学びを今後の学習や生活にどう生かすか考える (学びの活用・次への展望) 	<p>全教科: 途中段階で発表を聞き合い、互いに工夫点を取り入れて改善に生かす</p> <p>算数・数学: 問題が解けなかった理由を振り返り、考え方のどこに課題があったのか自己評価する</p> <p>国語: 作文の推敲過程を振り返り、工夫した点や難しかった点を評価する</p> <p>総合: グループでの探究活動を振り返り、活動の役割や貢献度、他者との関わりについて考え、評価する</p> <p>体育・音楽: 技能の習得度を自己評価し、今後の課題や次回の計画を立てる</p> <p>特別活動: 委員会活動での自分の役割や貢献を振り返り、自己評価する</p>

※ここで示している見方・考え方はあくまで例であると同時に、漏れなく重なりなく列挙するものではなく、お互いに関わり合うものです。